

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

シリーズ景観 28

～「みんなで残したい松江の景観400選集」から景観審議会が特にお薦めする景観～

— No.175 塩見縄手 —

「江戸時代の面影を色濃く残し、美しい松江を代表する塩見縄手です。市民、観光客に大人気のスポットとなっており、私の最も好きな場所の一つです」など、複数の方から推薦いただきました。



推薦写真

下見板 白漆喰

塩見縄手は、松江城北側の堀沿いにある小泉八雲（ヘレン）旧居や武家屋敷などが立ち並ぶ通りです。

市では昭和48年に「伝統美観保存条例」を制定、この地区を「伝統美観地区」（※平成19年度からは景観地区）に指定しました。以来、門や塀の復元、堀沿いの松の移植・補植、電線類の地中化などを行い、美観を守ってきました。日本瓦、白

漆喰、洗ひ茶色の下見板で統一された通りを歩いていると、江戸時代にタイムスリップしたかのようです。堀川遊覧船に乗って眺める塩見縄手も風情がありお薦めです。

「日本の道100選」（国土交通省、1987年）にも選ばれた塩見縄手。いつまでも残したい“城下町松江”の景観です。

「しまね景観賞」の応募は、年間を通して受け付けています。第21回しまね景観賞の応募は、8月31日（土）までです。

【お問い合わせ】景観政策室 TEL 55-5387 FAX 55-5658

E-mail : keikan@city.matsue.lg.jp

しまね景観賞

検索

